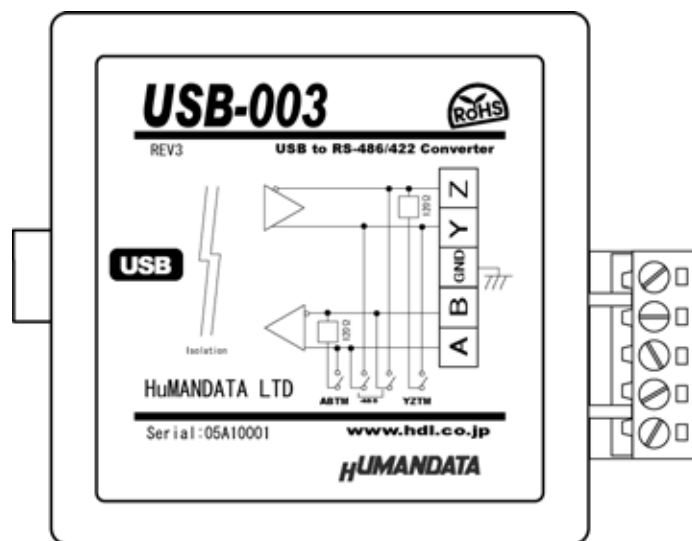


**HUMANDATA**



USB to RS-485/422 変換器  
USB-003  
ユーザズマニュアル  
第 10 版 (Rev3)



ヒューマンデータ



## 目次

はじめに .....	1
ご注意 .....	1
1. 製品の内容について .....	2
2. 各部の名称 .....	3
2.1. 電源 .....	4
2.2. 銘板（ブロック図） .....	4
2.3. 端子台 .....	5
2.4. 設定スイッチ .....	5
2.5. 送信制御 .....	6
2.6. エコー制御（Rev2） .....	6
3.1 ドライバのインストール方法 Windows XP 編 .....	7
3.2 ドライバのインストール方法 Windows 2000 編 .....	12
3.3 ドライバのインストール方法 Windows 98_ME 編 .....	18
4.1 ドライバのアンインストール方法 Windows XP 編 .....	19
4.2 ドライバのアンインストール方法 Windows 2000 編 .....	20
4.3 ドライバのアンインストール方法 Windows 98_ME 編 .....	21
5. 機能説明 .....	21
5.1. 一般仕様 .....	21
5.2. RS-485 モード .....	22
5.3. RS-422 モード .....	22
6. 参考資料について .....	23
7. 付属資料 .....	23
8. 外形寸法図 .....	23

## はじめに

この度は、USB-003 シリーズをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。  
どうぞご活用ください。

## ご注意

1. 本書の内容は、改良のため将来予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
2. 本書の内容については万全の記して作成しましたが、万一誤りなど、お気づきの点がございましたら、ご連絡をお願いいたします。
3. 本製品の運用の結果につきましては、2. 項にかかわらず当社は責任を負いかねますので、ご了承ください。
4. 本書に記載されている使用と異なる使用をされ、あるいは本書に記載されていない使用をされた場合の結果については、当社は責任を負いません。
5. 本書および、回路図、サンプル回路などを無断で複写、引用、配布することはお断りいたします。

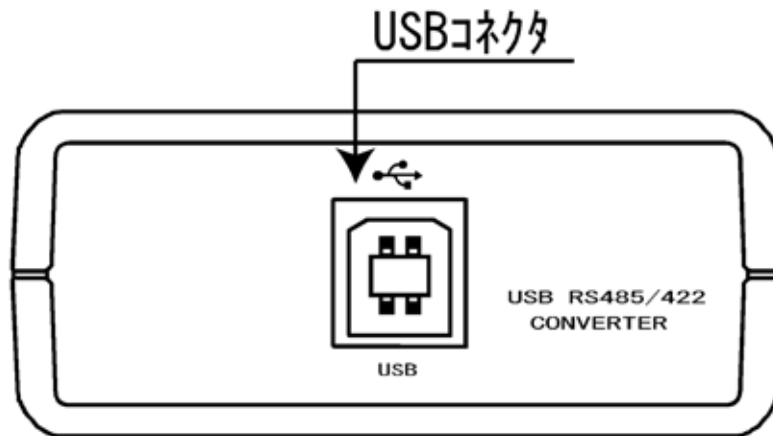
## 1. 製品の内容について

本パッケージには、以下のものが含まれています。万一、不足などがございましたら、弊社宛にご連絡ください。  
マニュアルは共通になっています、お買い上げのモデルの欄をご確認ください。

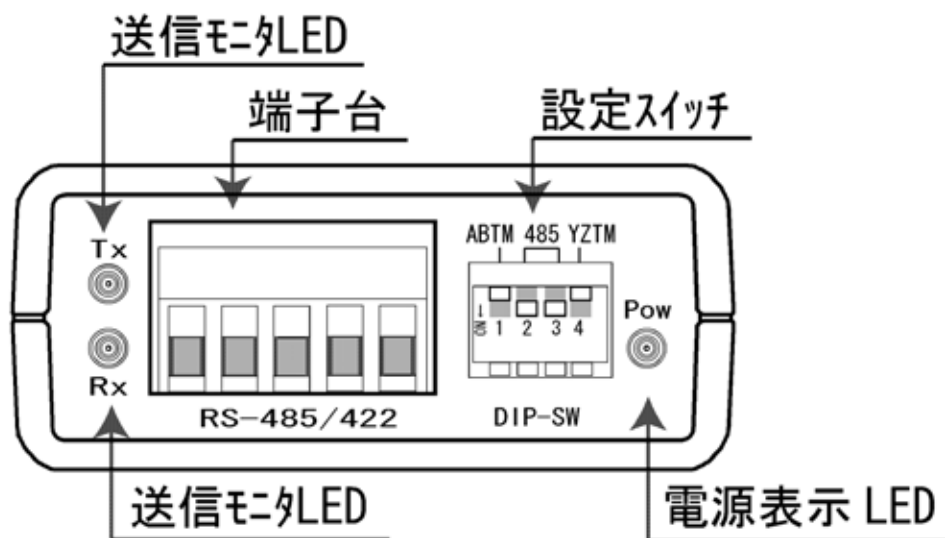
USB-RS485/422 変換器 ( USB-003 )	1
USB ケーブル	1
ドライバ CD	1
マニュアル ( 本書 )	1
ユーザー登録はがき	1

2. 各部の名称

USB 側パネル



RS-485/422 側パネル



## 2.1. 電源

電源は、USB 経由でパソコンより供給されます。

## 2.2. 銘板（ブロック図）

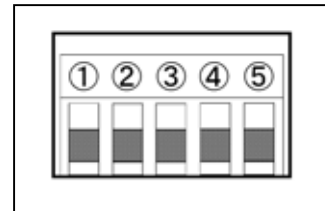


USB 側と、RS-485/422 側は絶縁されています。詳細は回路図をご参照ください。

### 2.3. 端子台

端子台は配線した状態で挿抜可能です。

番号	記号	内容
1	A	受信+
2	B	受信-
3	GND	グラウンド
4	Y	送信+
5	Z	送信-

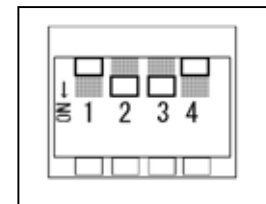


グラウンドは接続しなくてもよいですが、必要に応じてシールドなどを接続してください。

### 2.4. 設定スイッチ

動作モードを設定スイッチにより切り替えます。

動作モード	スイッチ状態			
	1	2	3	4
RS-485 終端なし	OFF	ON	ON	OFF
	ON	ON	ON	OFF
RS-485 終端あり	OFF	OFF	OFF	OFF
	ON	OFF	OFF	OFF
RS-422 受信側終端あり	OFF	OFF	OFF	ON
	ON	OFF	OFF	ON



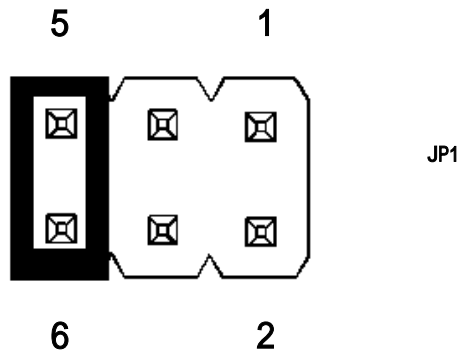
スイッチは 下側が ON となります。

終端抵抗は 120 Ω となっています。



## 2.5. 送信制御

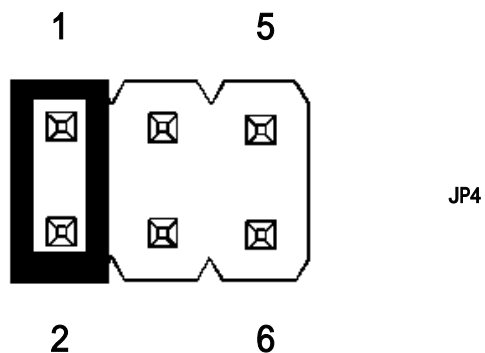
内部ジャンパ(JP1)により、送信制御モードを切り替えることができます。



JP1 設定	
1-2 ショート	DTR でドライバを有効
3-4 ショート	RTS でドライバを有効
5-6 ショート	自動切り替え (出荷時設定)

## 2.6. エコー制御 (Rev2)

内部ジャンパ(JP4)により、エコーキャンセル機能を設定することができます。



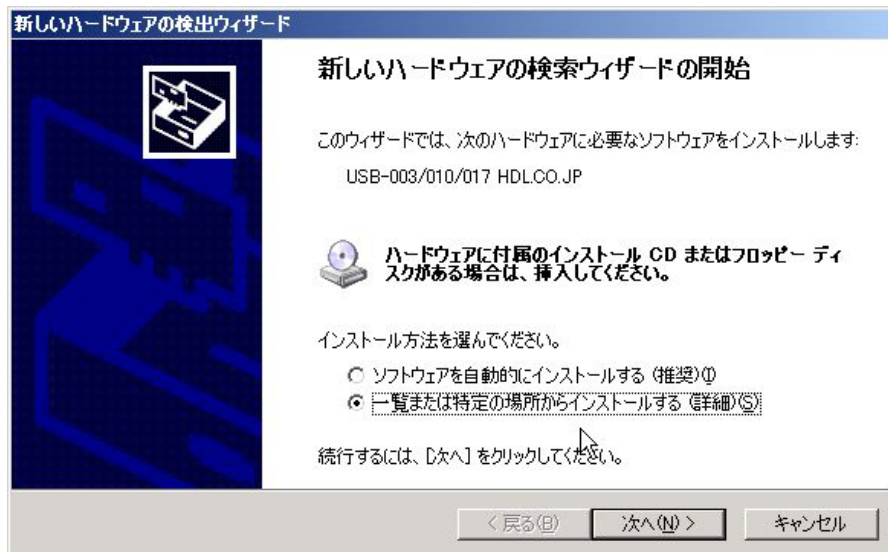
JP4 設定	
1-2 ショート	エコーキャンセルを有効 (出荷時設定)
3-4 ショート	未使用
5-6 ショート	エコーキャンセルを無効 (R1 互換)

### 3.1 ドライバのインストール方法 Windows XP 編

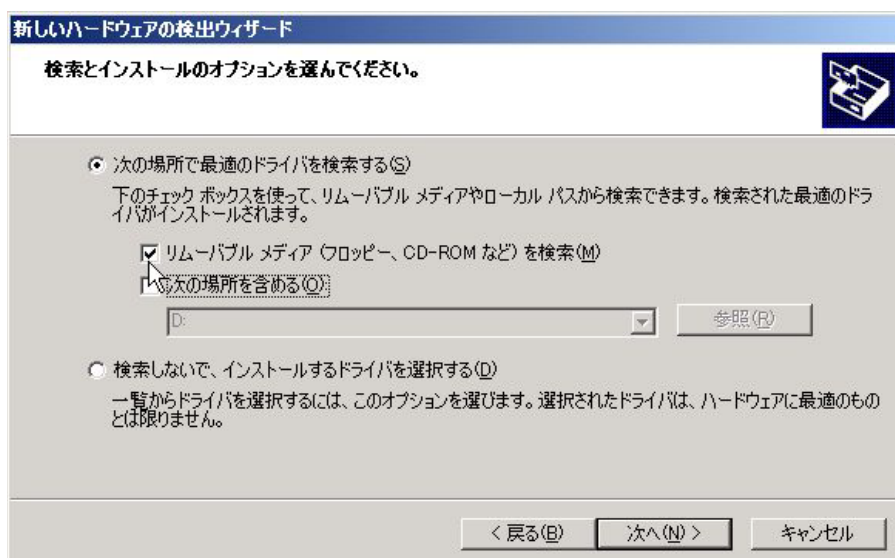
2つのドライバが組み込まれることとなります。付属のCDを用いてドライバのインストールをお願いします。

パソコンにUSB-003を接続してください。プラグアンドプレイ機能により、次のようになります。

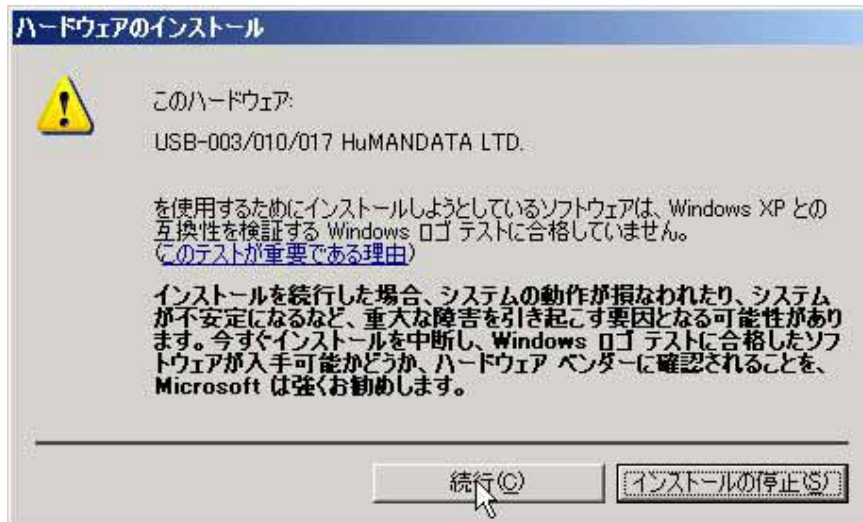
一覧または特定の場所をインストールする(詳細)(S)を選択し、続行をクリックします。



次のように表示されましたら、リムーバブル メディア(フロッピー、CD-ROM など)を検索(M)を選択し、次へをクリックします。(ドライバCD挿入済みの事)



次のように表示されましたら、続行をクリックします。

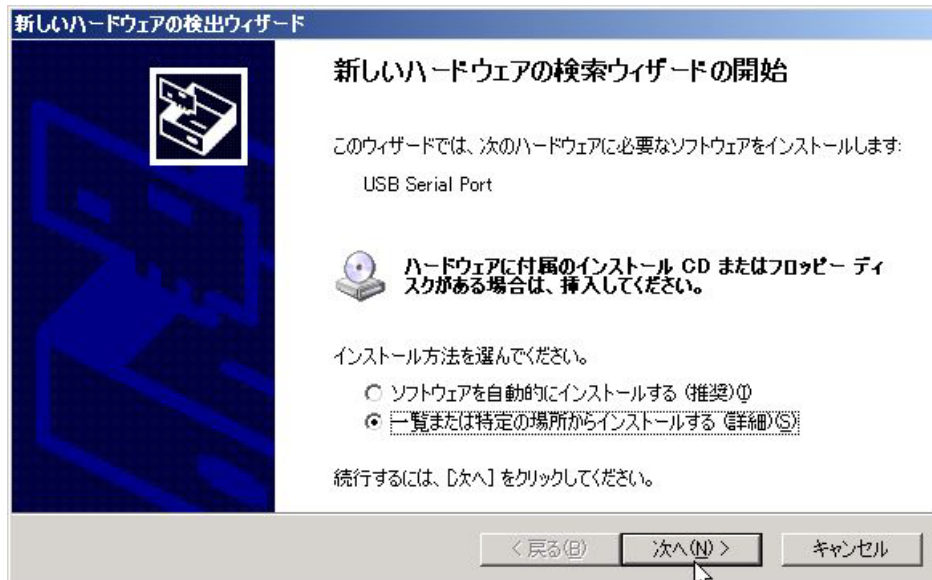


次のように表示され、1つ目のドライバの組み込みが完了します。(まだ続きがあります)

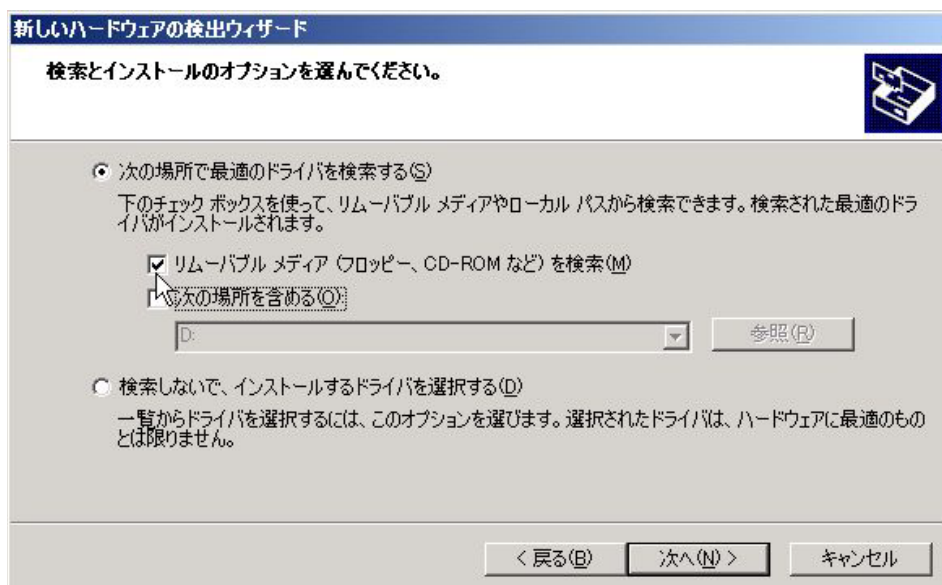


次に、仮想 COM ポートのドライバの組み込みが始まります。

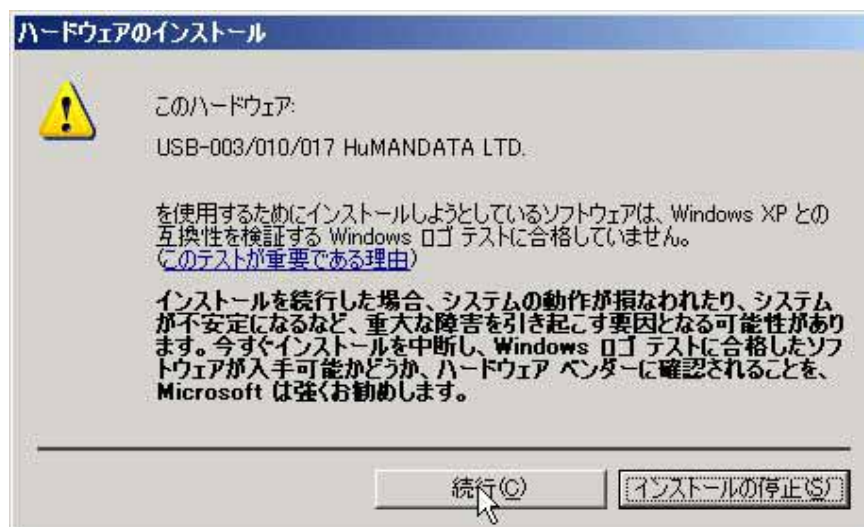
一覧または特定の場所をインストールする (詳細) (S) を選択し、次へをクリックします。



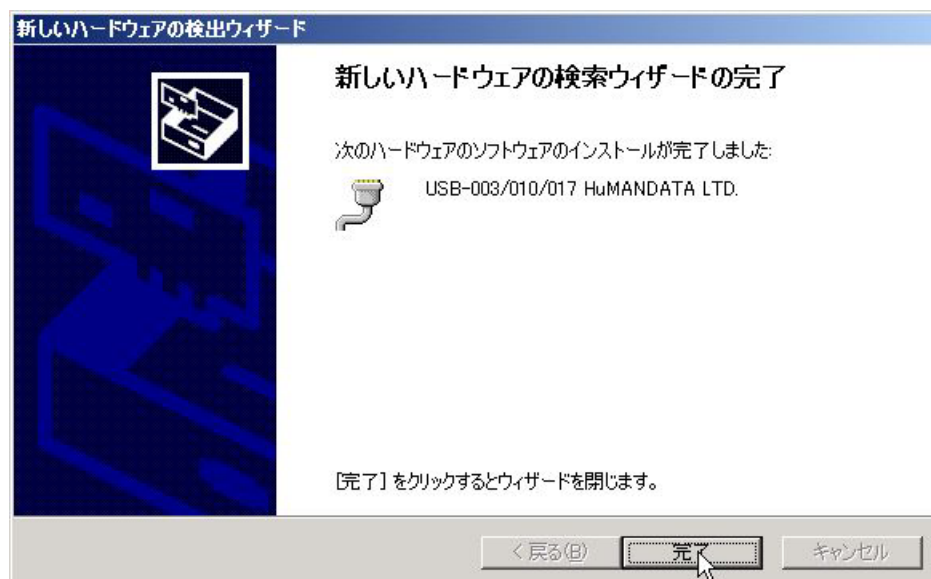
次のように表示されましたら、リムーバブル メディア (フロッピー、CD-ROM など) を検索 (M) を選択し、次へをクリックします。(ドライバ CD 挿入済みの事)



次のように表示されましたら、続行をクリックしてください



次のように表示され、2つ目のドライバの組み込みが完了します。

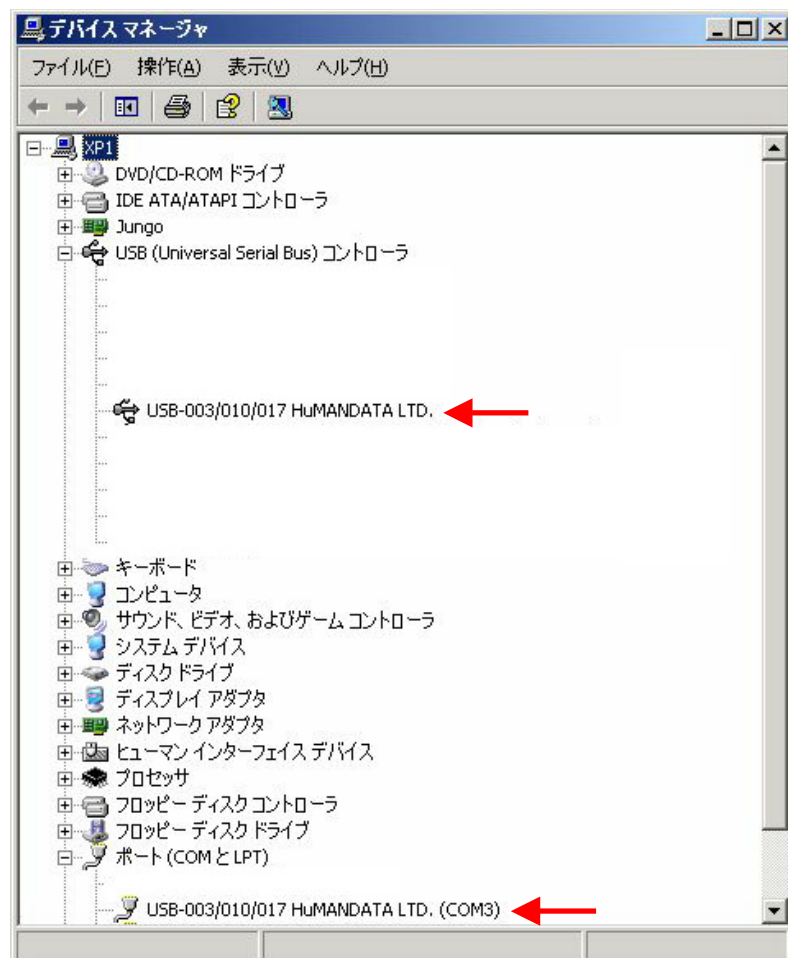


これでドライバの組み込みが完了しました。

デバイスマネージャーで確認すると次のようになっているはずです。

COM ポートの番号は、お客様の環境により異なります。COM ポートの番号を確認するためにも、一度ご確認を御願います。

デバイスマネージャは、**マイコンピュータのプロパティ**を選択し、**ハードウェアタブ**から**デバイスマネージャのボタン**をクリックするか、**マイコンピュータの管理**から、**デバイスマネージャ**をクリックするかのいずれかの方法で起動することができます。



新しいドライバが提供されたときは、弊社サイトのサポートページの説明に従ってください。

MAC や Linux のサポートは行っておりませんが、FTDI 社のサイトからダウンロードすることにより、MAC や Linux でも USB-003 をご利用になれるはずです。

<http://www.ftdichip.com/>

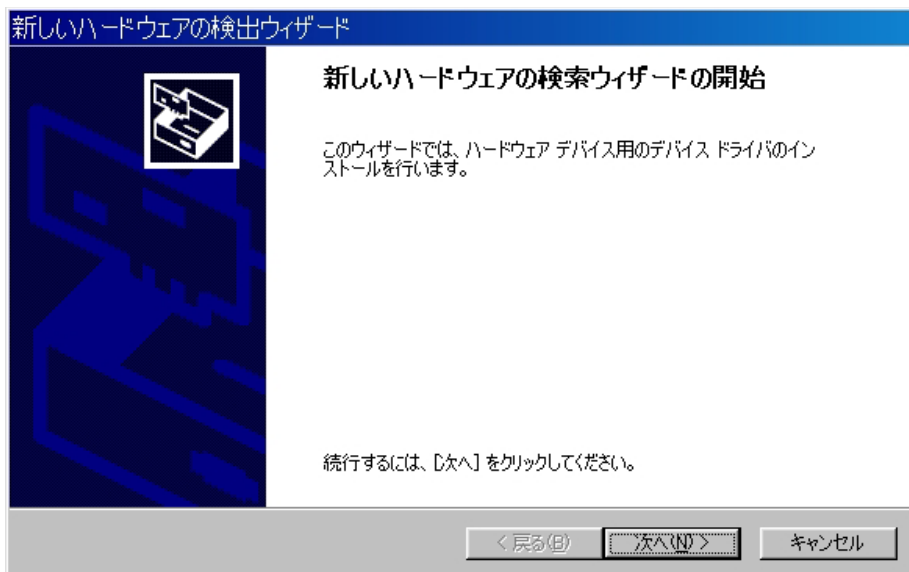
をごらんくださいませ。

### 3.2 ドライバのインストール方法 Windows 2000 編

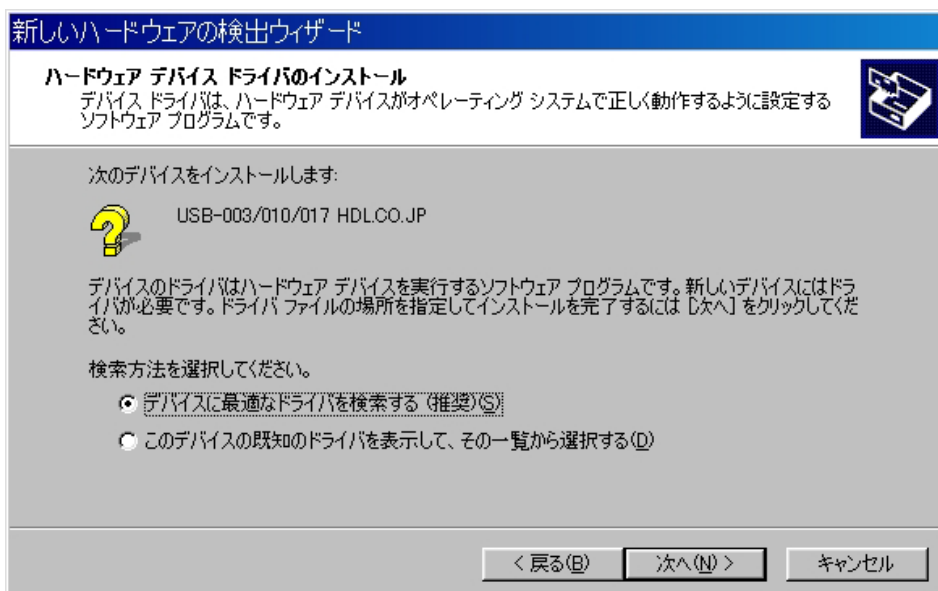
2つのドライバが組み込まれることとなります。付属のCDを用いてドライバのインストールをお願いします。

パソコンにUSB-003を接続してください。プラグアンドプレイ機能により、次のようになります。

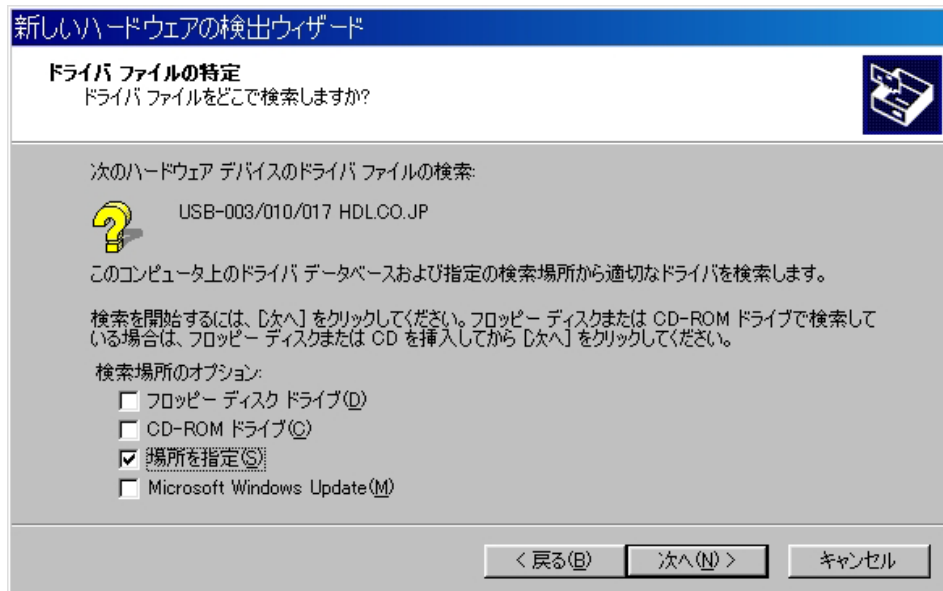
次へをクリックします。



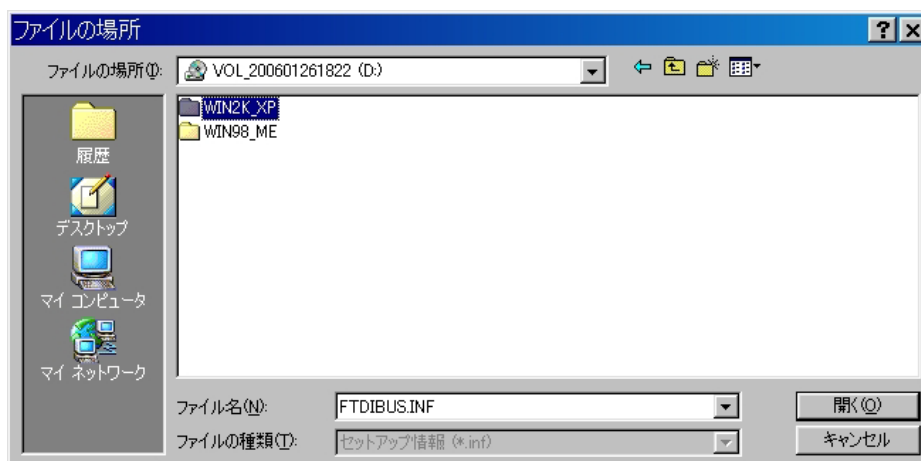
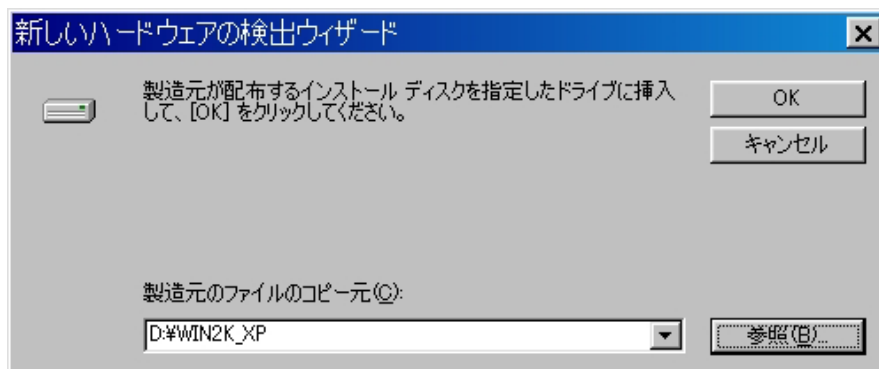
デバイスに最適なドライバを検索する (推奨) (S)を選択し、次へをクリックします。



場所を指定 (S) をクリックします。

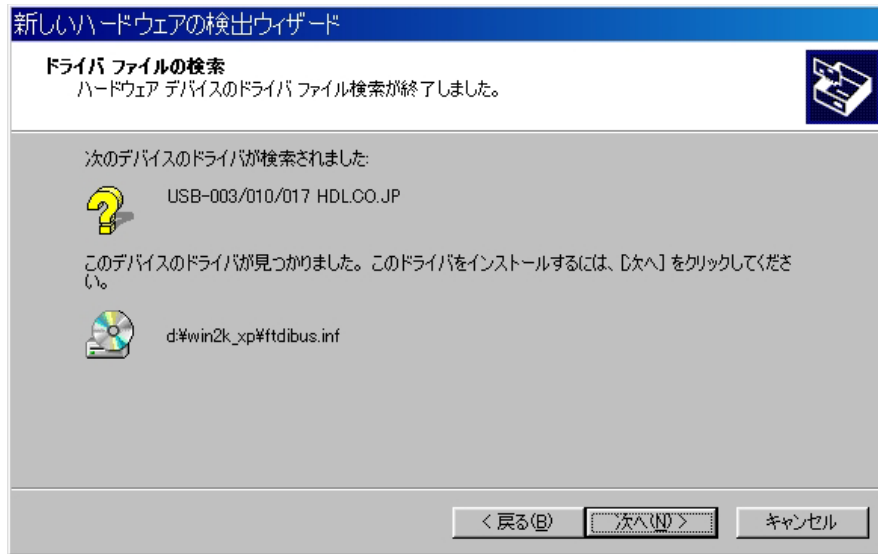


参照をクリックし、ドライバ CD 中にある WIN2K\_XP のファイルを指定してください。

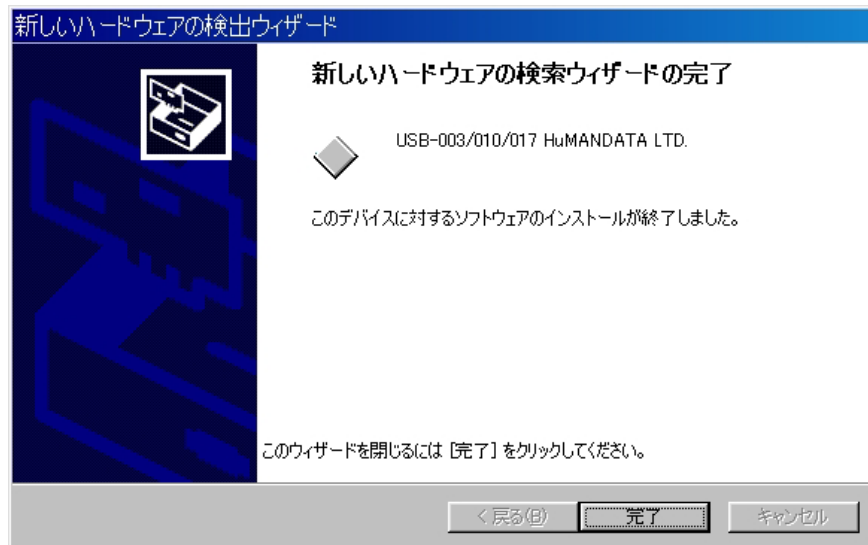




次のように表示されましたら、次へをクリックします。

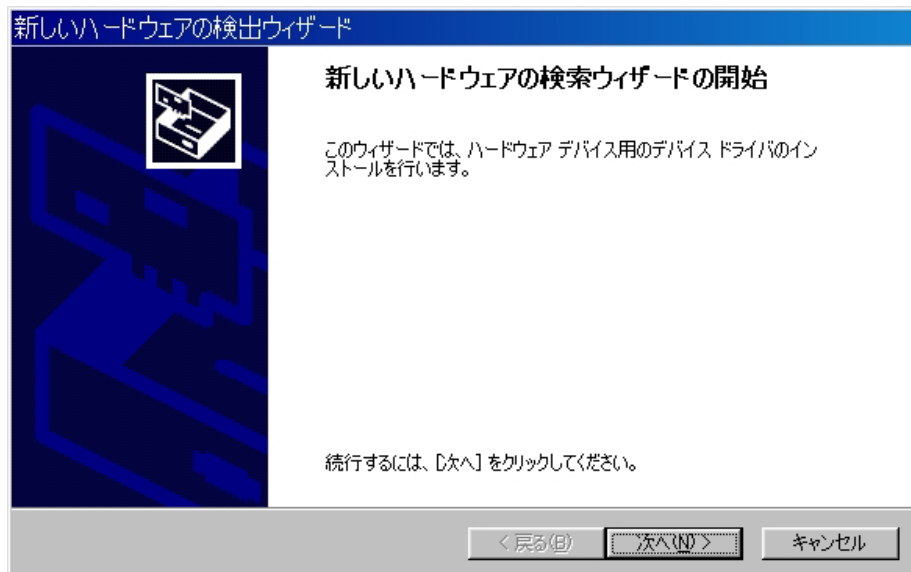


次のように表示されましたら一つ目のドライバインストールは完了です。

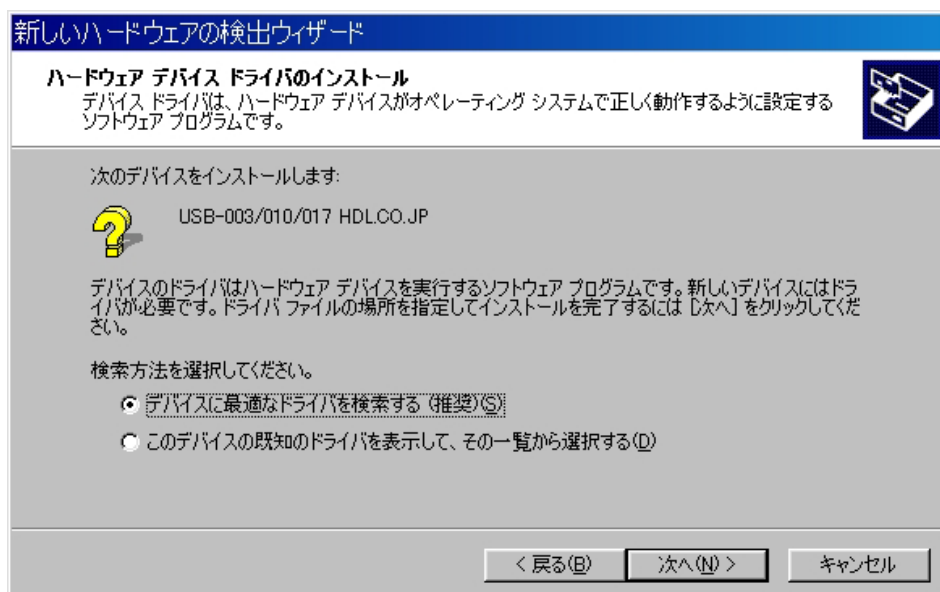


次に、仮想 COM ポートのドライバの組み込みが始まります。

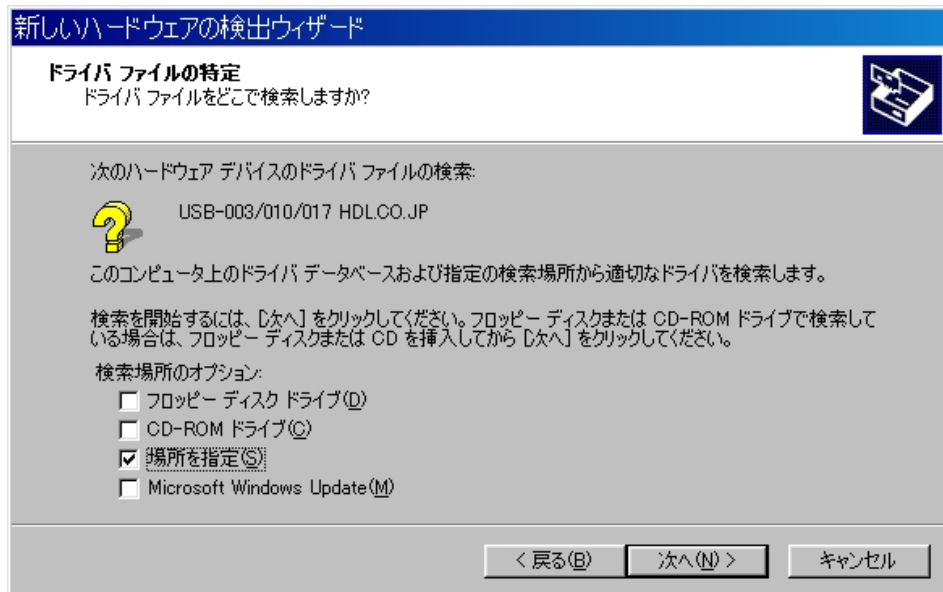
次へをクリックします。



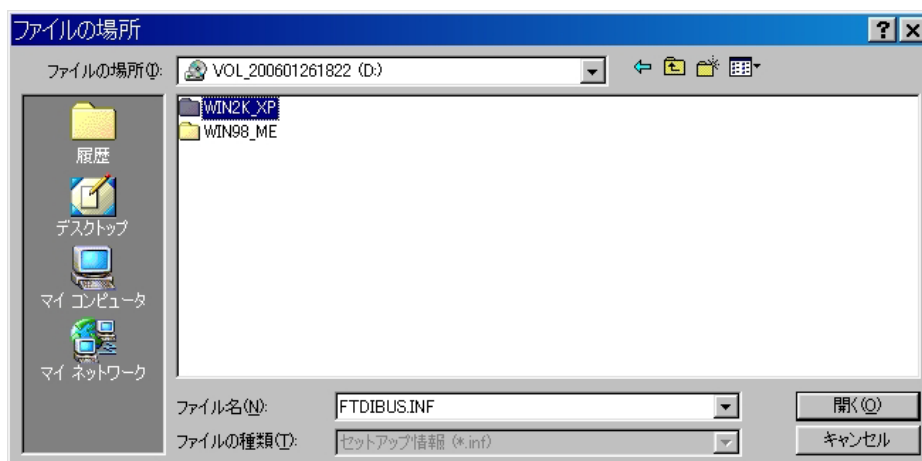
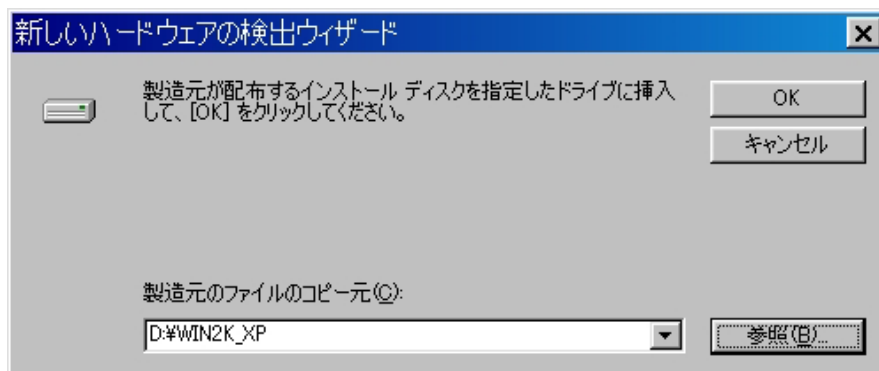
デバイスに最適なドライバを検索する (推奨) (S)を選択し、次へをクリックします。



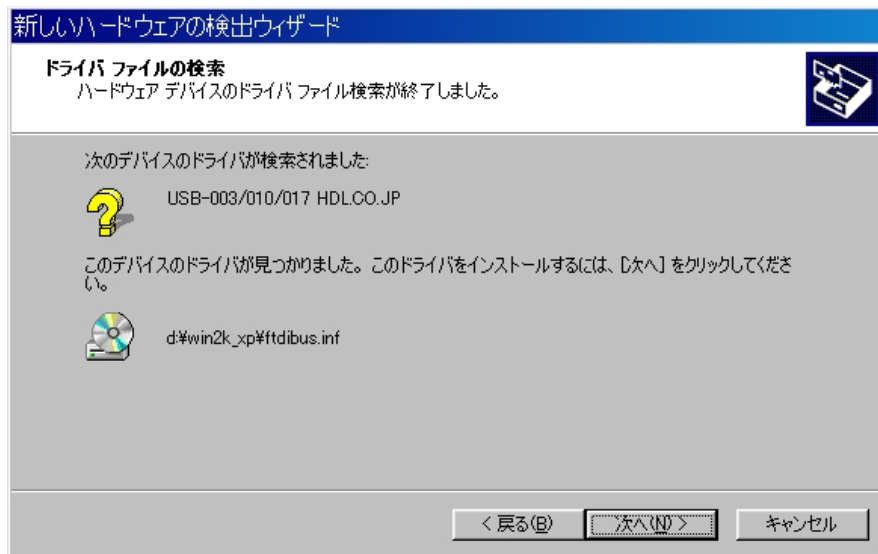
場所を指定 (S) を選択して、次へをクリックします。



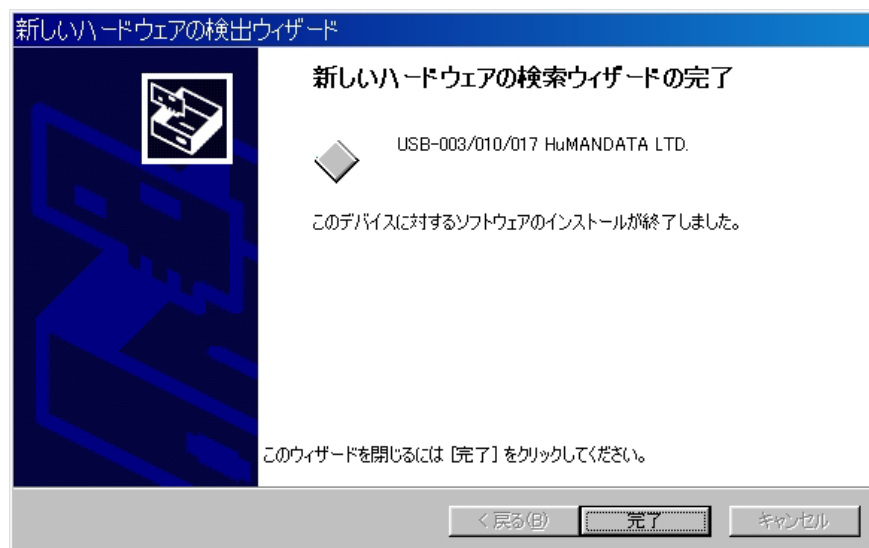
参照をクリックし、ドライバ CD 中にある WIN2K\_XP のファイルを指定してください。



次へをクリックします。



次のように表示されましたら、二つ目（仮想 COM ポートドライバ）のドライバインストールは完了です。

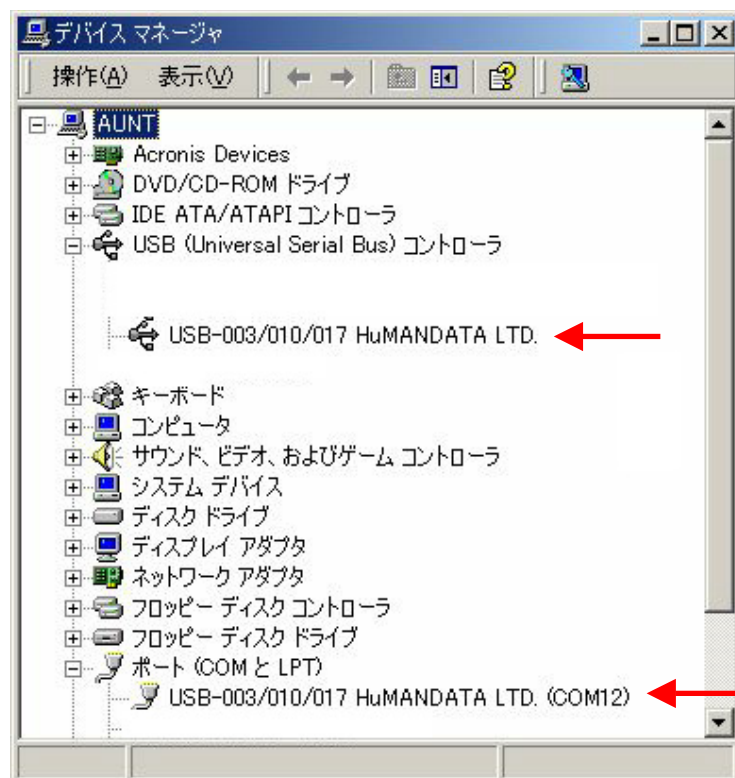


これでドライバの組み込みが完了しました。

デバイスマネージャーで確認すると次のようになっているはずです。

COM ポートの番号は、お客様の環境により異なります。COM ポートの番号を確認するためにも、一度ご確認を御願います。

デバイスマネージャは、**マイコンピュータのプロパティ**を選択し、**ハードウェアタブ**から**デバイスマネージャのボタン**をクリックするか、**マイコンピュータの管理**から、**デバイスマネージャ**をクリックするかのいずれかの方法で起動することができます。



新しいドライバが提供されたときは、弊社サイトのサポートページの説明に従ってください。

MAC や Linux のサポートは行っておりませんが、FTDI 社のサイトからダウンロードすることにより、MAC や Linux でも USB-003 をご利用になれるはずです。

<http://www.ftdichip.com/>

をごらんくださいませ。

### 3.3 ドライバのインストール方法 Windows 98\_ME 編

ドライバ CD 内の **INSTMAN98ME.pdf** をご参照ください。

#### 4.1 ドライバのアンインストール方法 Windows XP 編

**ドライバのアンインストール作業を行う時は、必ず USB-003 をパソコンから取り外した状態で行ってください。**

Windows XP におけるドライバの削除方法をご説明します。

スタート 設定 コントロールパネルよりプログラムの追加と削除をクリックしてください。

USB-003/010/017 HuMANDATA LTD. を選択して「変更と削除」をクリックしてアンインストールを行います。



次のように表示されますので Continue をクリックしてください。



次のように表示されましたら Finish をクリックしてください。



## 4.2 ドライバのアンインストール方法 Windows 2000 編

**ドライバのアンインストール作業を行う時は、必ず USB-003 をパソコンから取り外した状態で行ってください。**

Windows 2000 におけるドライバの削除方法をご説明します。

スタート 設定 コントロールパネルよりアプリケーションの追加と削除をクリックしてください。

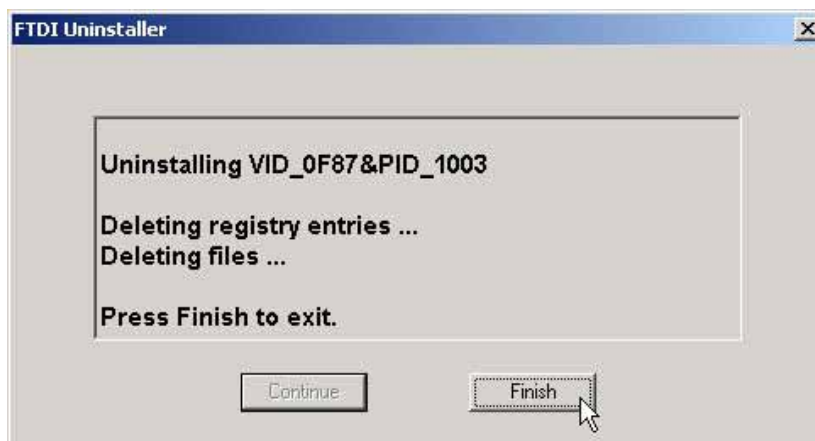
USB-003/010/017 HuMANDATA LTD. を選択して「変更と削除」をクリックしてアンインストールを行います。



次のように表示されますので Continue をクリックしてください。



次のように表示されましたら Finish をクリックしてください。



### 4.3 ドライバのアンインストール方法 Windows 98\_ME 編

ドライバ CD 内の [INSTMAN98ME.pdf](#) をご参照ください。

## 5. 機能説明

USB-003 に用いているドライバ IC は、リニアテクノロジー社の LTC1535CSW です。

LTC1535CSW は、RS-485 と RS-422 に対応した IC です。

USB-003 では設定スイッチの切り替えにより、RS-485 と RS-422 の両方に対応しています。

### 5.1. 一般仕様

項目	内容	備考
電源電圧	DC5V(バスパワー)	
消費電流	100mA 以下	
バス仕様	USB2.0 準拠(Full Speed 対応)	
RS422/485 通信速度	最大 250Kbps	絶縁型、任意ポーレート可能
絶縁耐圧	DC1000V 1 分間	設計値
USB ドライバ	仮想 COM ポートドライバ	
対応 OS	Windows 98/ME/2000/XP	
質量	約 80g	本体のみ
外形寸法	67x67x28 mm	突起含まず



## 5.2. RS-485 モード

項目	仕様	備考
通信方式	半 2 重通信	
最大通信速度	250Kbps	
接続可能端末数	128	
終端抵抗	120 オーム	設定スイッチでオンオフ切り替え可
送受切り替え	USB コントローラにより自動	内部設定ジャンパにより、RTS または DTR 信号による制御も可能
エコーキャンセル	内部ジャンパによりエコーキャンセル可能	Rev2 より追加機能 (JP4)

RS-485 は 1 対 ( 2 本 ) のツイストペアケーブルで、複数の端末と通信することができます。

## 5.3. RS-422 モード

項目	仕様	備考
通信方式	全 2 重通信	
最大通信速度	250Kbps	
接続可能端末数	128	
終端抵抗	120 オーム	設定スイッチにより、送信部、受信部、個別でオンオフ切り替え可
送信部イネーブル制御	USB コントローラにより自動	内部設定ジャンパにより、RTS または DTR 信号による制御も可能
受信部イネーブル制御	常時オン	常時受信可能です

RS-422 は 2 対 ( 2 本 ) のツイストペアケーブルで、複数の端末と通信することができます。

上りと下りで配線が分かれており、同時通信 ( 全 2 重通信 ) が可能です。

## 6. 参考資料について

追加資料や参考資料がつけられた場合は  
製品サポートページ

[http://www.hdi.co.jp/support\\_c.html](http://www.hdi.co.jp/support_c.html)

にデータをアップロードすることにいたします。

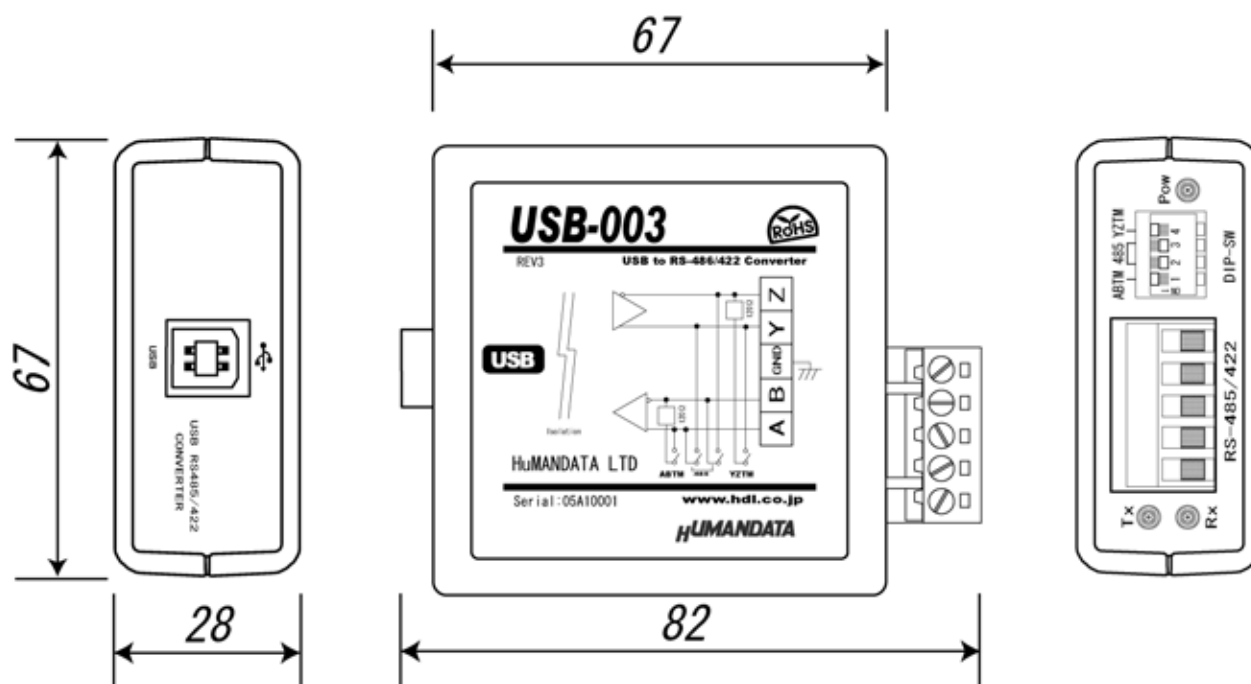
拡張子 “.exe” のときは、自己解凍ファイルといたします。

ときどきチェックしていただき必要に応じてご利用くださいませ。

## 7. 付属資料

1. 回路図

## 8. 外形寸法図



---

USB-003 シリーズ

USB-003

ユーザーズマニュアル

2003/5/6 初版(R1) 2003/6/11 第2版(R1)

2003/6/13 第3版(R1) 2003/11/17 第4版(Rev2)

2004/11/17 第5版(Rev2) 2005/4/18 第6版(Rev2)

2005/9/6 第7版(Rev2) 2006/2/2 第8版(Rev2)

2006/04/21 第9版(Rev3) 2006/10/26 第10版(Rev3)

---

## 有限会社ヒューマンデータ

〒567-0034

大阪府茨木市中穂積1-2-10

ジブラルタ生命茨木ビル

TEL 072-620-2002

FAX 072-620-2003

U R L <http://www.hdl.co.jp/>

M a i l [spc2@hdl.co.jp](mailto:spc2@hdl.co.jp)

---